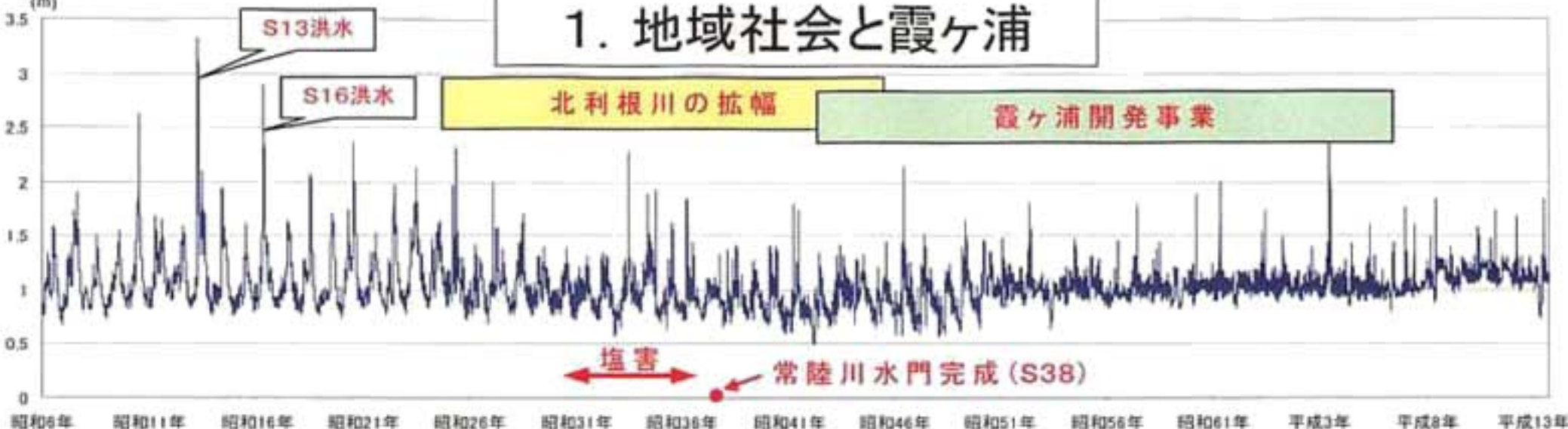


# 生態系に関する基礎資料

1. 地域社会と霞ヶ浦
2. 霞ヶ浦の生物
3. 湖岸植生面積の経年変化
4. 湖岸堤の整備と湖岸植生面積の変化
5. 仮説
6. 水質と湖岸植生面積の変化
7. 生態系との共存に向けて

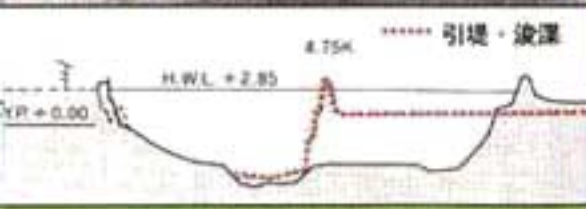
# 1. 地域社会と霞ヶ浦



昭和13年洪水



北利根川引堤・浚渫



▲ 塩害新聞記事



▲ 研究学園都市 (つくば市)



▼ 鹿嶋工業地帯 (鹿嶋市)



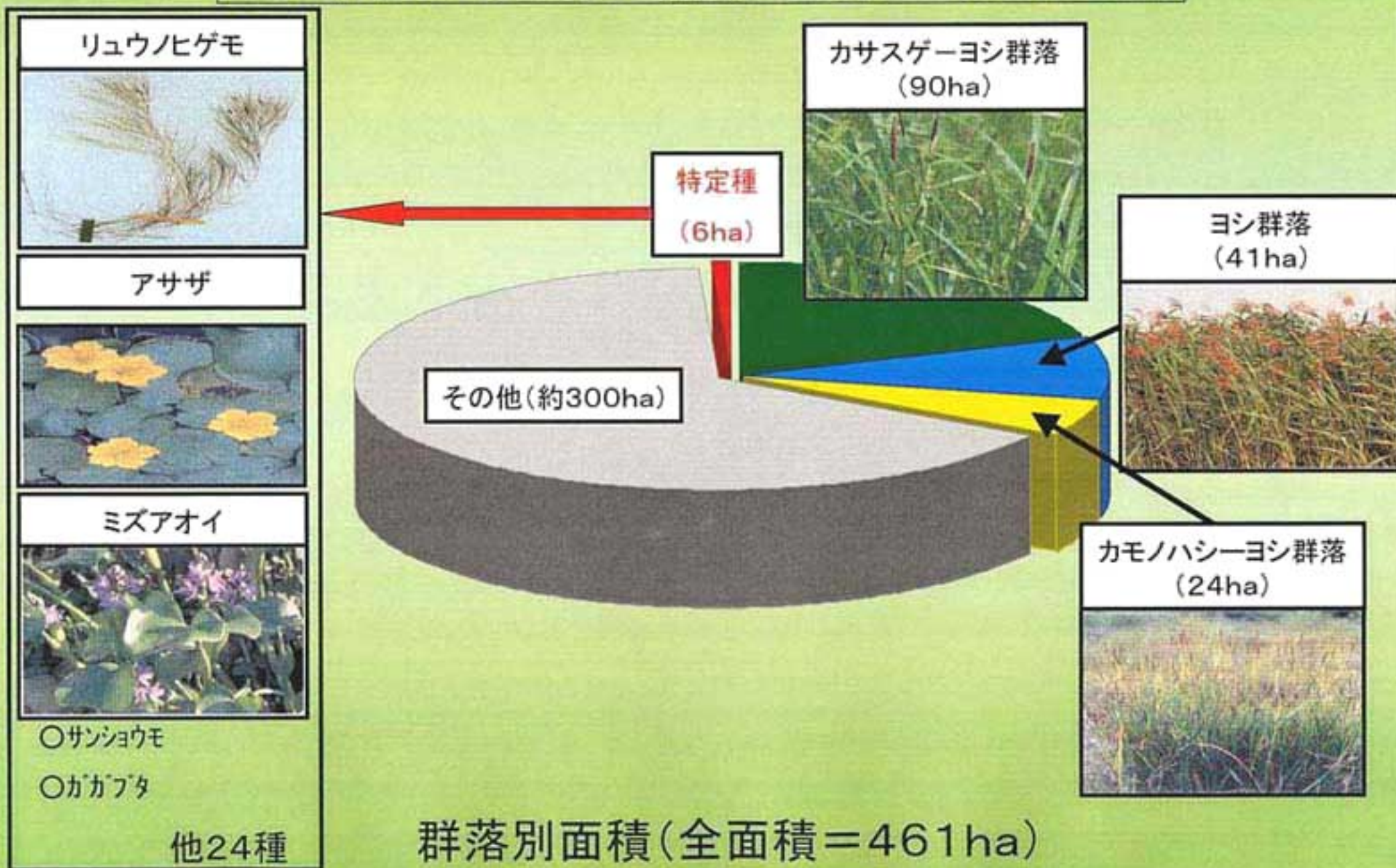
常陸川水門



湖岸堤 (施工後)

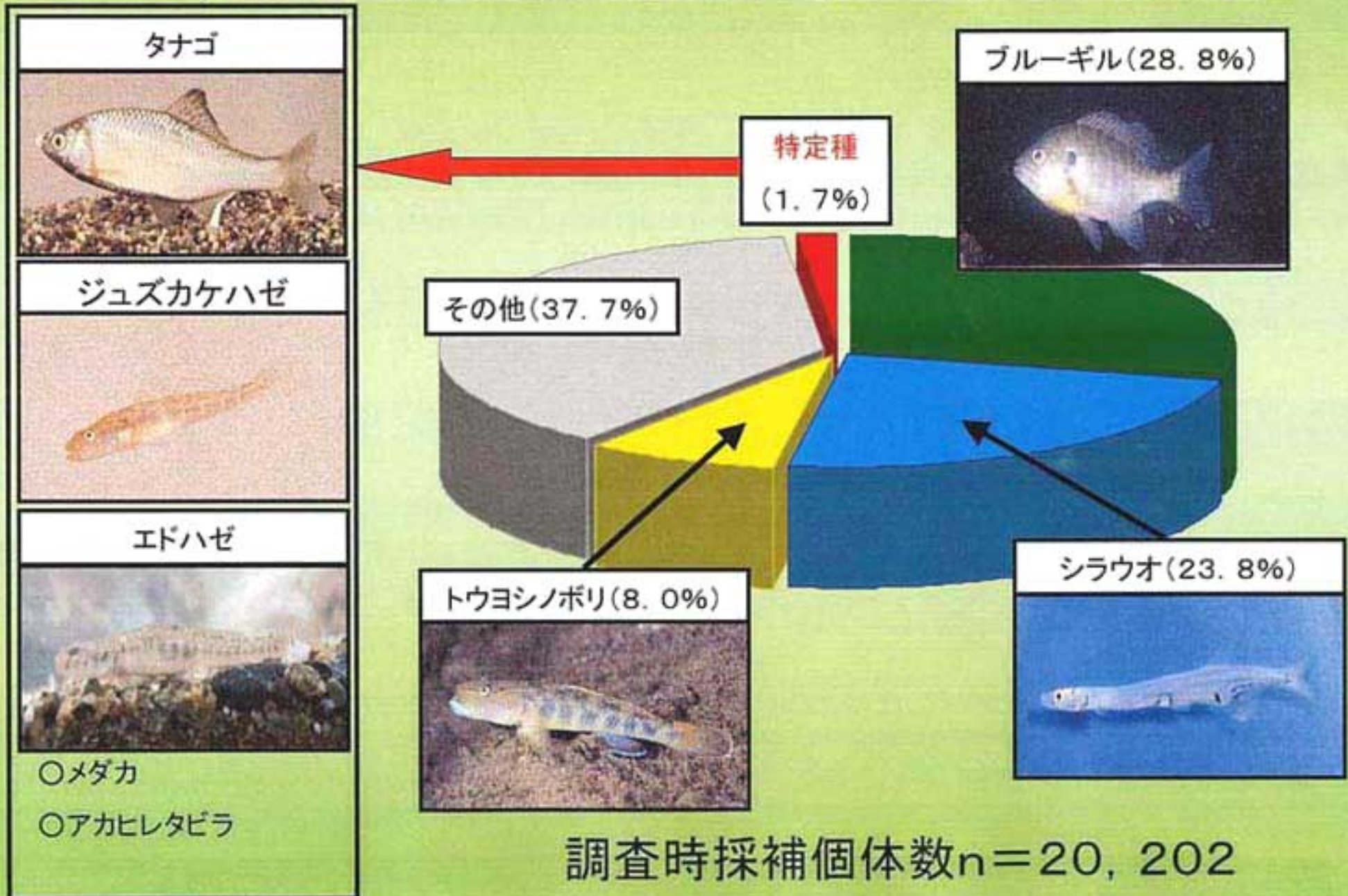
## 2. 1 霞ヶ浦の生物(植物)

平成14年河川水辺の国勢調査では、植物105科546種が確認された。



## 2. 2 霞ヶ浦の生物(魚類)

平成11年河川水辺の国勢調査では、魚類11目24科56種が確認された。



## 2. 3 霞ヶ浦の生物(鳥類)

平成12年河川水辺の国勢調査では、鳥類15目35科138種が確認された。

### 特定種

チュウヒ



オオタカ



チュウサギ



他69種

ゴイサギ等  
(42種)



その他  
(26.1%)  
(36種)

水域周辺性種  
(30.4%)

草地性種  
(13.0%)

水域性種  
(30.4%)

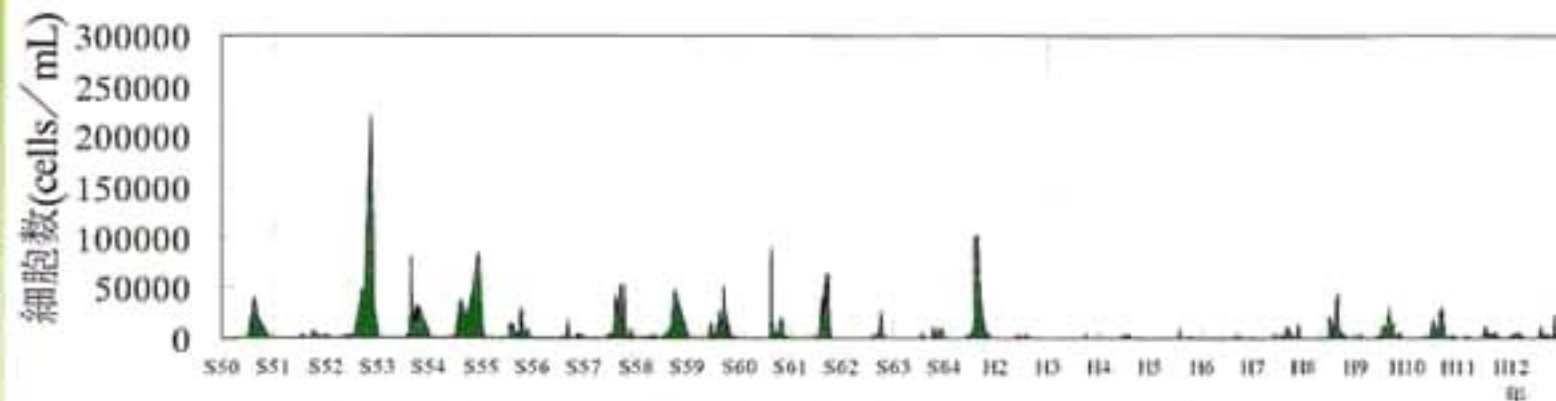
オオヨシキリ等  
(18種)

カイツブリ等  
(42種)

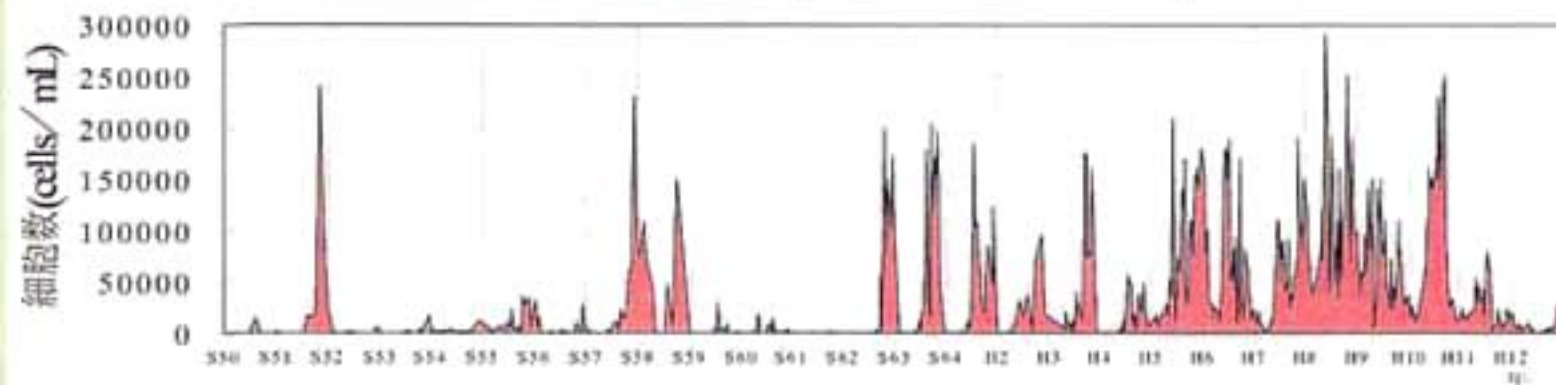


生息環境区分による種の構成状況

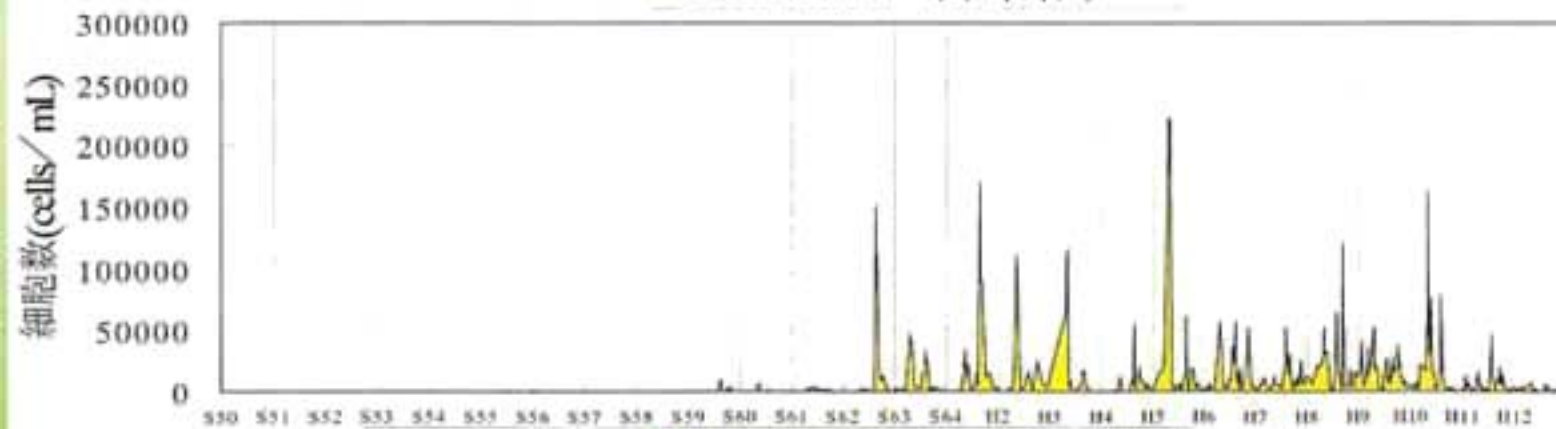
## 2. 4 霞ヶ浦の生物(プランクトン)



■ Microcystis (マイクロシステス)



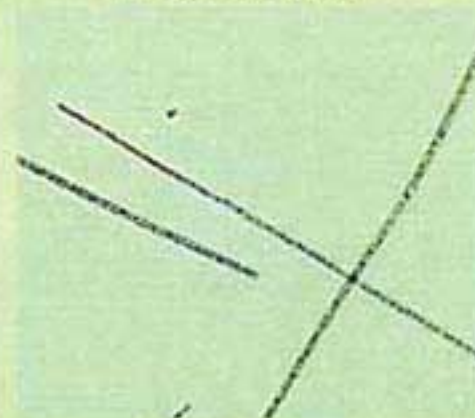
■ Oscillatoria (オシトリア)



■ Phormidium (フォルミディウム)



▲ マイクロシステス

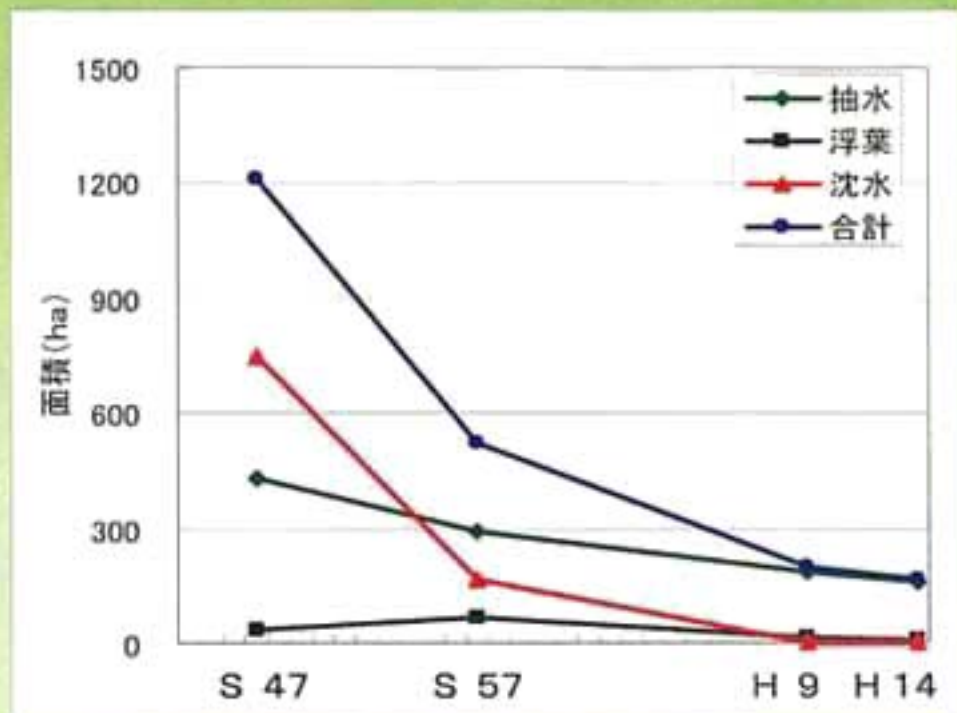


▲ オシトリア

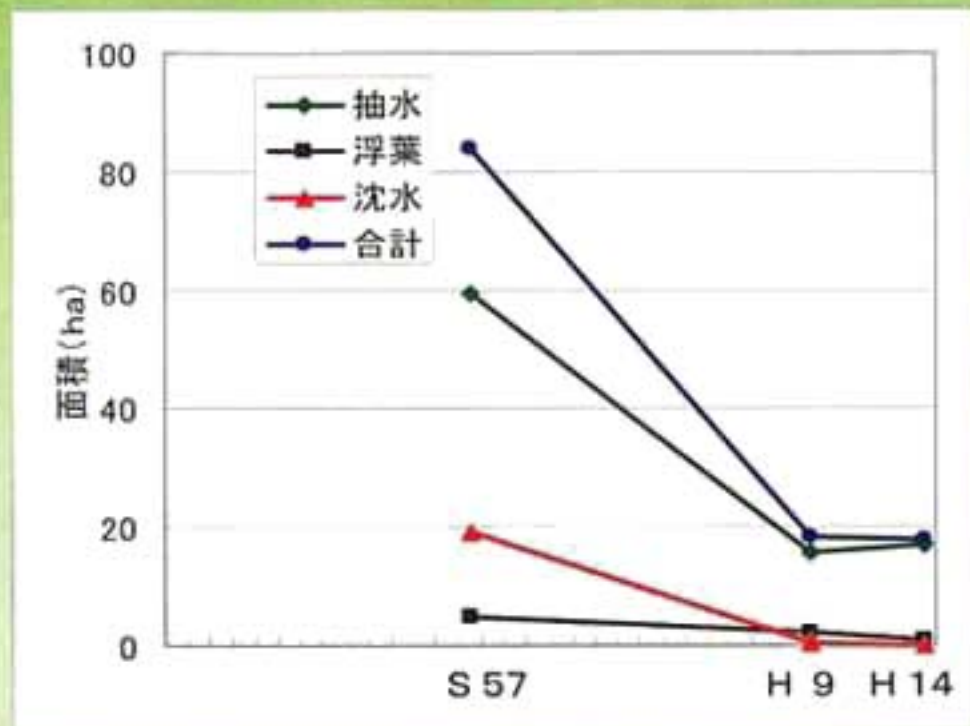


▲ フォルミディウム

### 3. 湖岸植生面積の経年変化

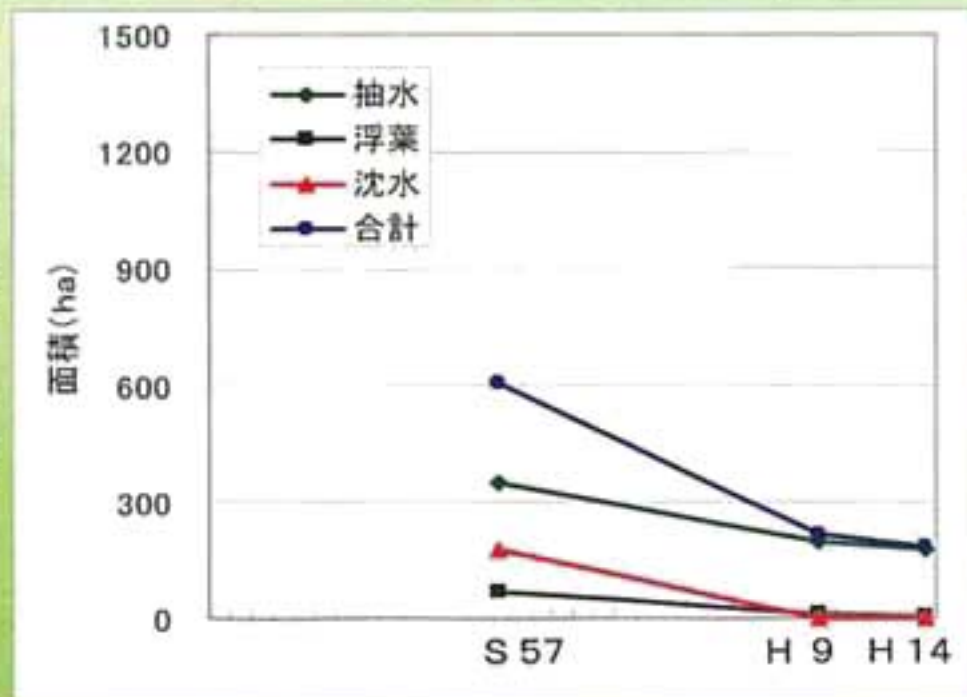


▲ 西浦



▲ 北浦

▶  
西浦  
+  
北浦

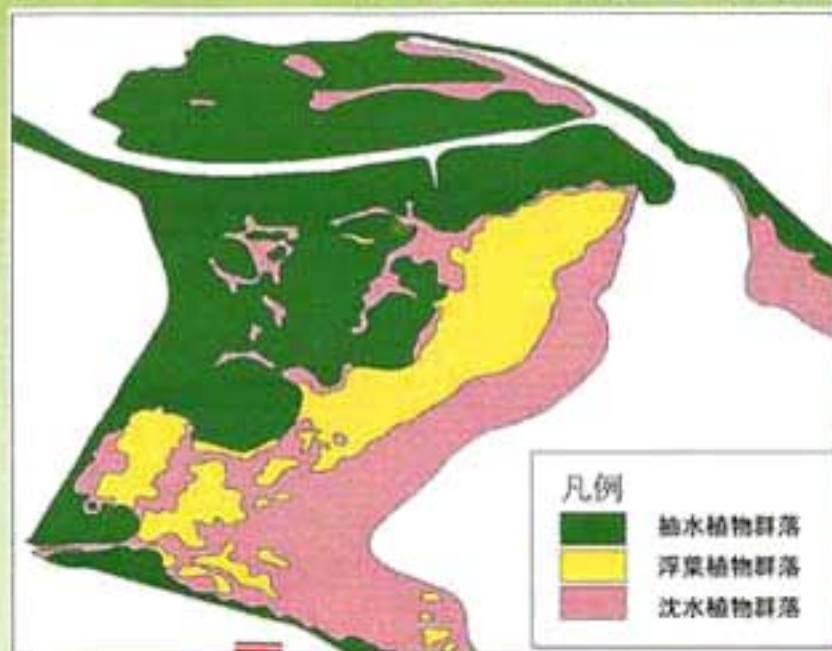


# 3. 1 高浜地先における湖岸植生の経年変化

▼ 昭和47年調査 植生図



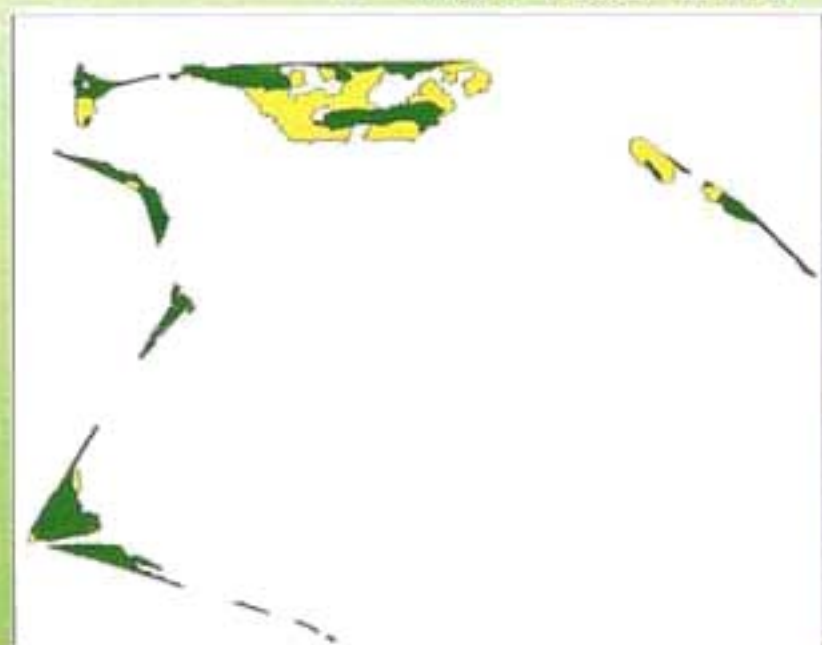
位置図 (石岡市高浜地先)



▼ 昭和57年調査 植生図

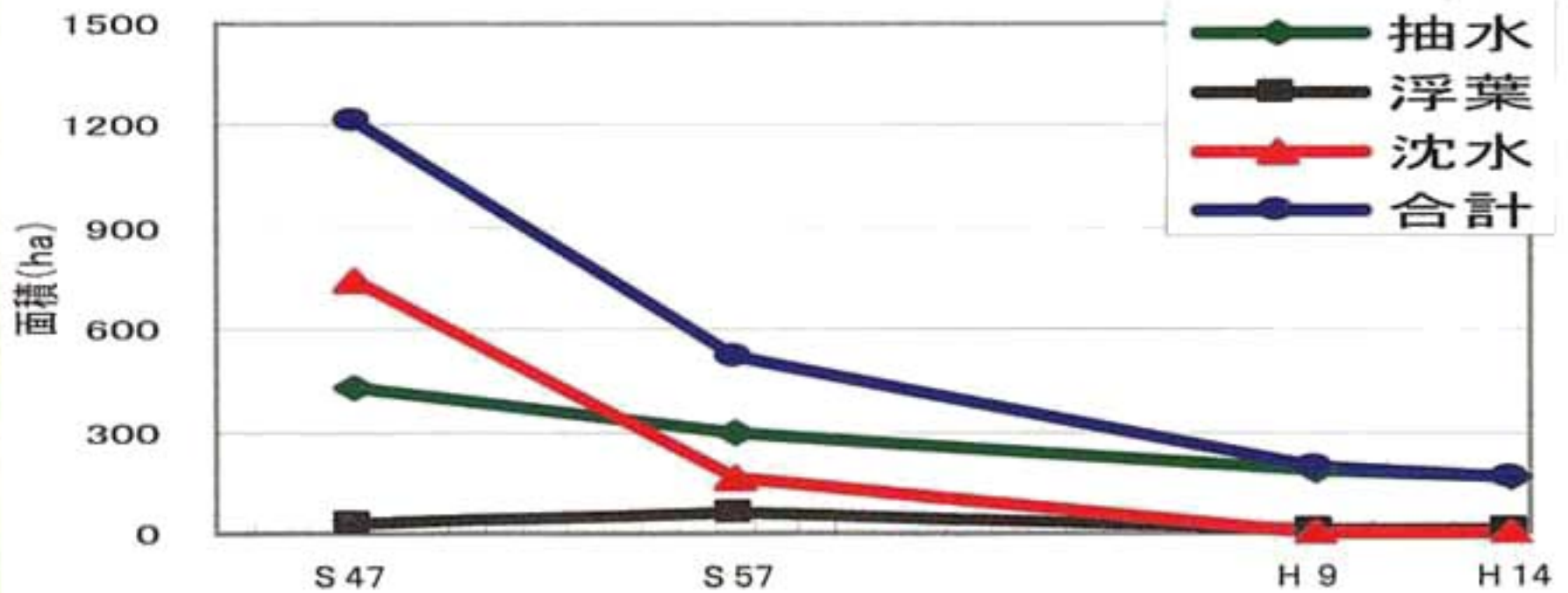
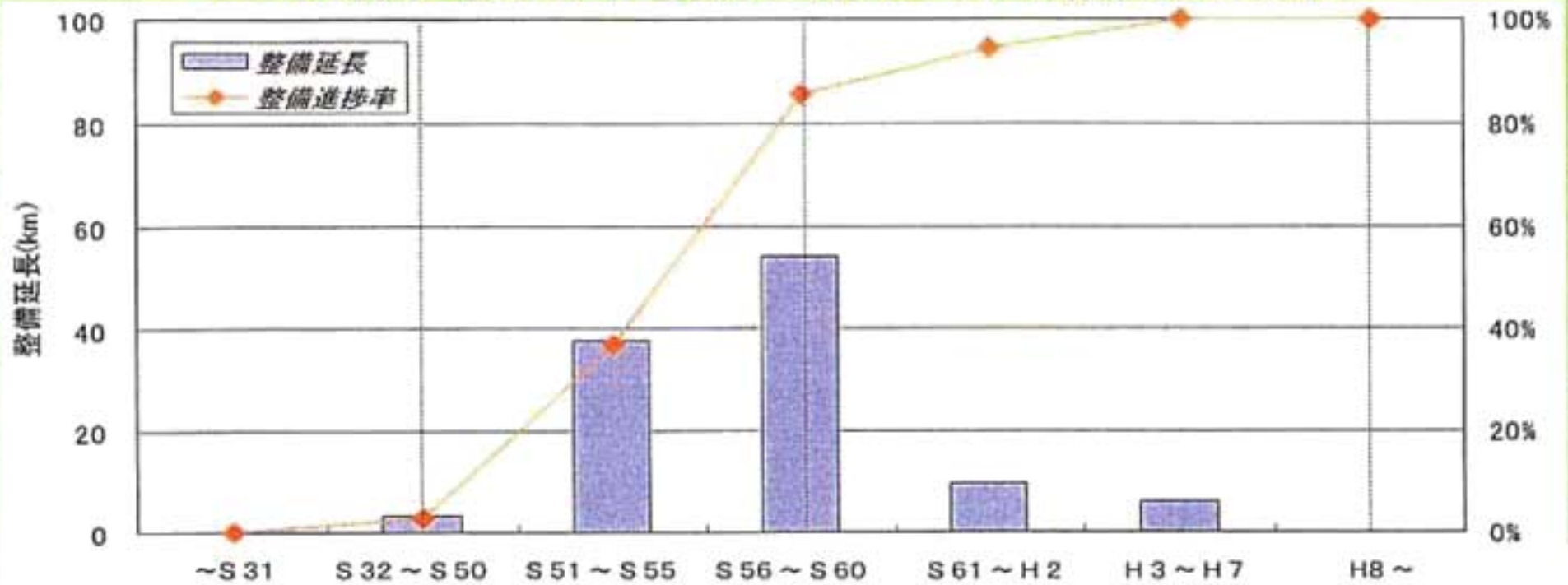


▼ 平成9年調査 植生図



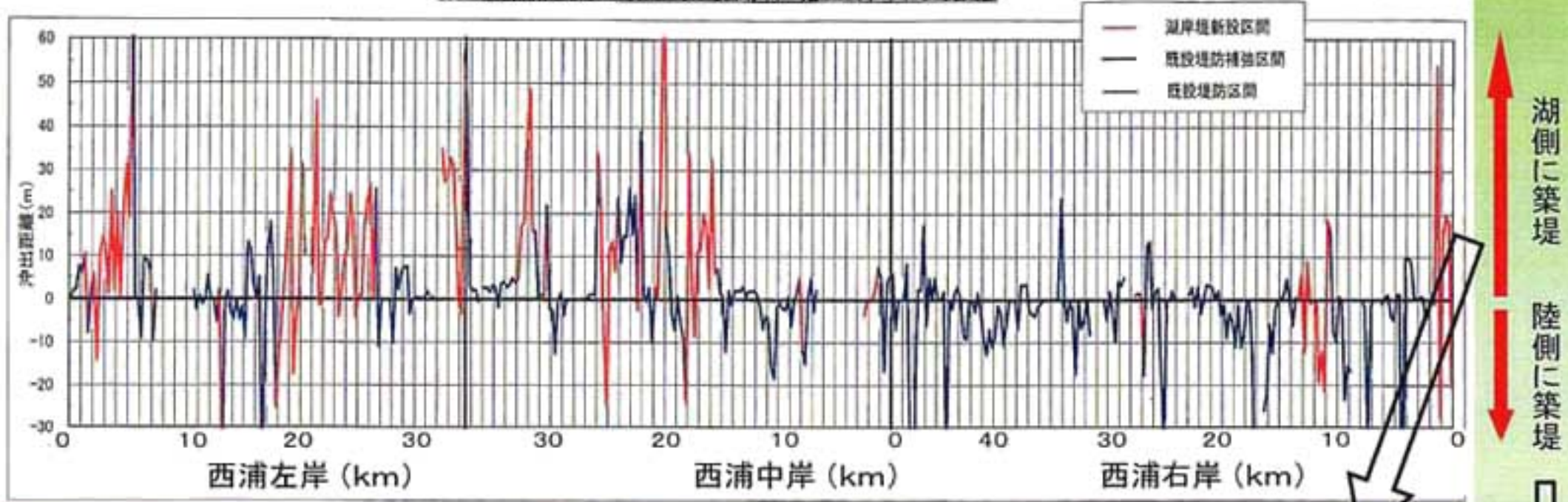


# 4. 湖岸堤の整備と植生面積の変化



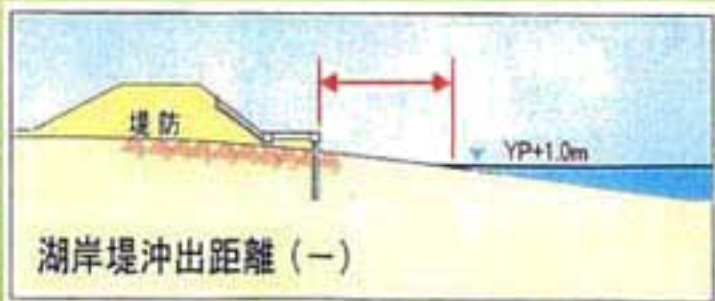
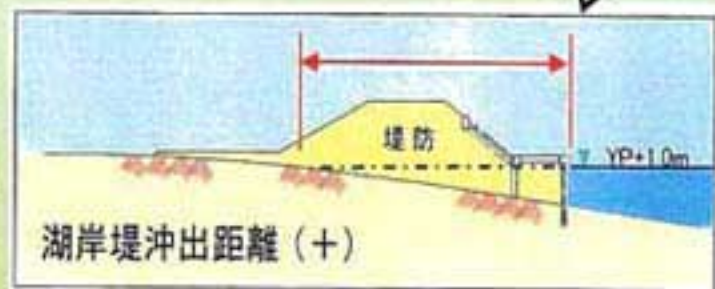
# 4.1 湖岸堤築造

霞ヶ浦開発事業による湖岸堤の沖出し距離

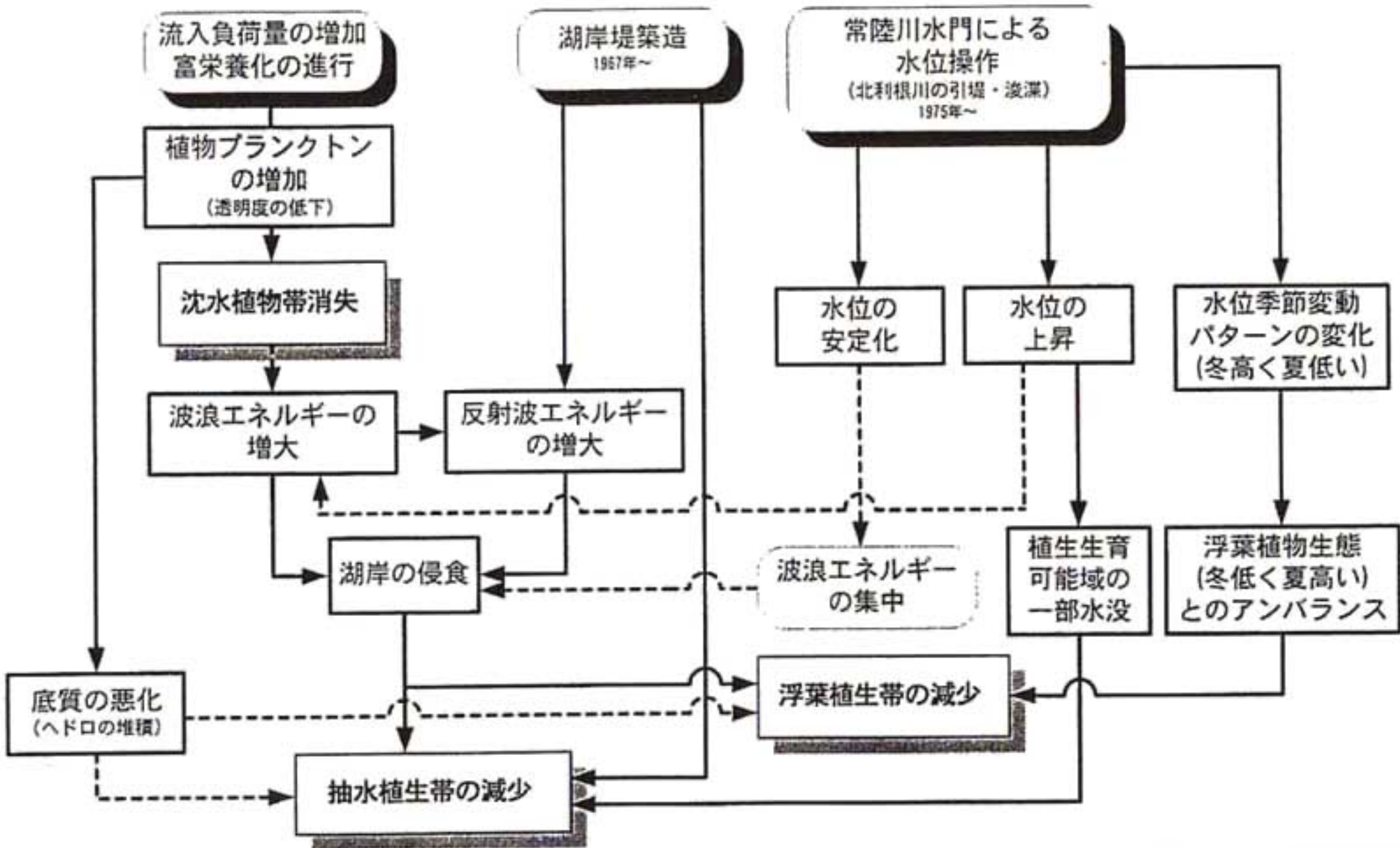


は、平成12年現在の湖岸堤護岸前面の位置

西浦中岸 16~18 km地点

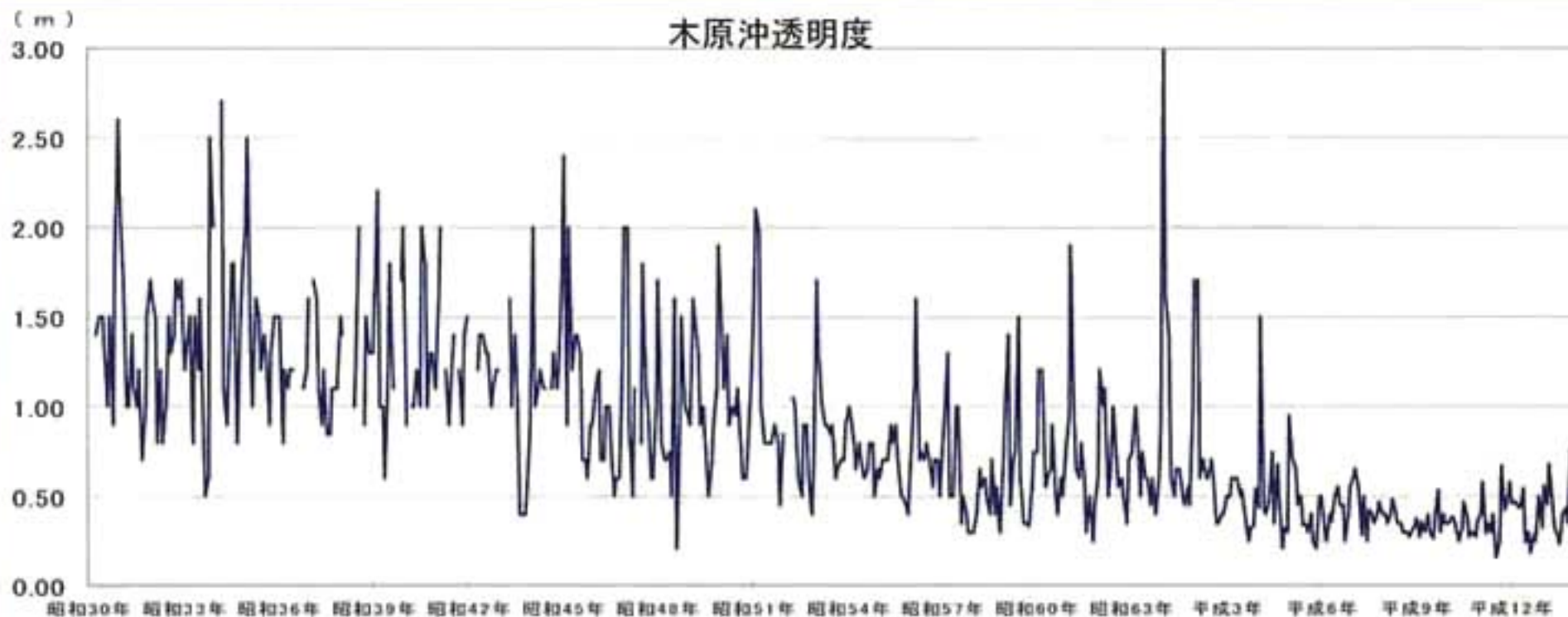


# 5. 仮説

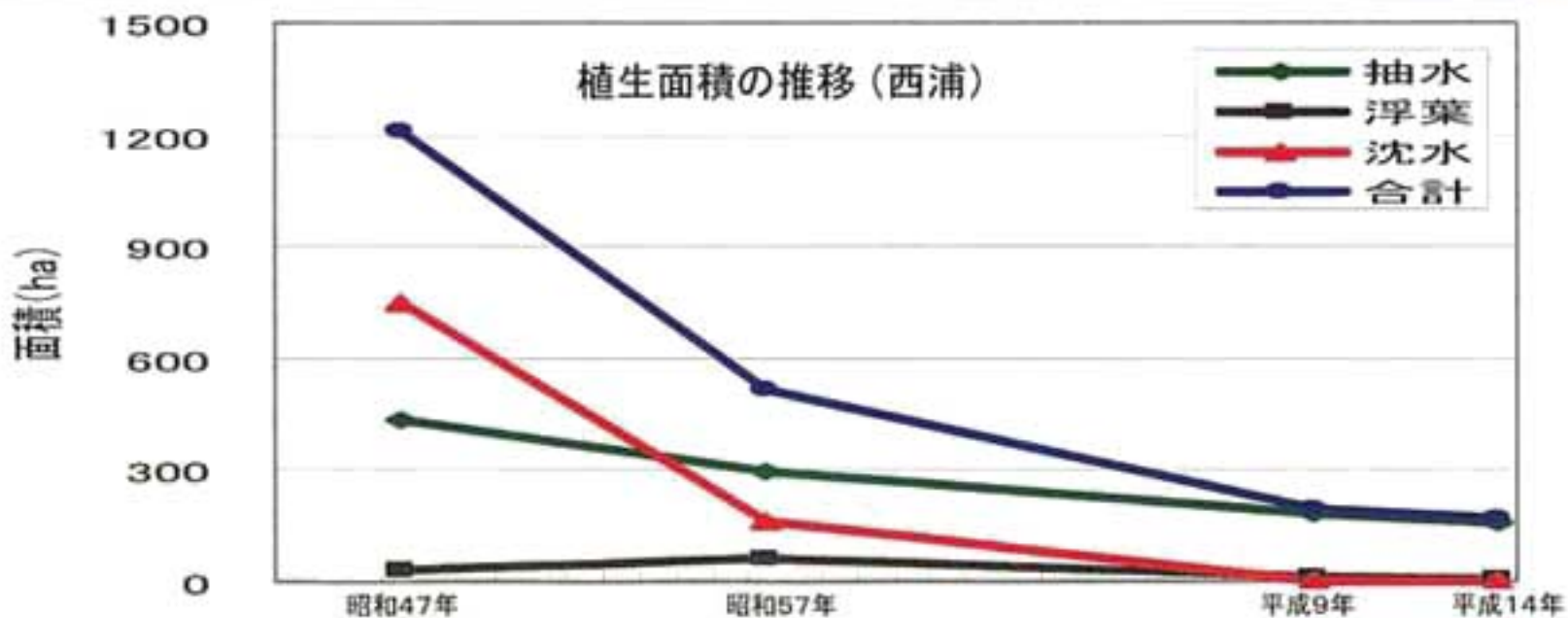


# 6. 水質と湖岸植生面積の変化

木原沖透明度



植生面積の推移 (西浦)



## 7. 生態系との共存に向けて

湖岸植生の減退は、様々な要因が複合的に作用した結果であり、今後さらなる調査・研究が必要



- 流域が一体となった水質改善の取り組みの推進
- 前浜の造成等、植生の場の復元・創出を積極的に実施
- 水利用と水辺環境の共存に向けた水位管理方法の調査・研究の実施